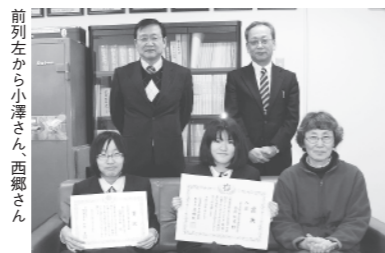


**3月12日**  
**地域の役に立ちたい  
 大成ロテックが弟子屈中学校で社会貢献**



大成ロテック(株)北海道支社(平賀達夫常務執行役員支社長)の皆さんが3月12日、弟子屈中学校の駐車場などの除雪と排雪を行いました。新校舎での初めての卒業式を無事に迎えてほしいと、社会貢献活動の一環として行ったものです。卒業式に出席する保護者の方などの駐車スペースを確保するため、大型の重機を使ってグラウンドの除雪を行いました。また併せて、校舎正面駐車場の横にたまった雪を取り除く作業を丁寧に行っていました。

**3月5日**  
**全道中学生の税をテーマとしたポスター  
 弟子屈中学校から2人が入賞**



道主催の第26回全道中学生の税をテーマとしたポスターコンクールで、弟子屈中学校(吉田亭校長)の1年生2人が入賞しました。入賞したのは、西郷綾夏さん(北海道教育長賞)、小澤きよねさん(北海道教育庁釧路教育長賞)です。贈呈式は3月7日、同校で行われ、釧路総合振興局の照井健二地域政策部長から2人に、賞状と副賞が手渡されました。コンクールは、次代を担う中学生に税に関心を持ち理解を深めてもらう目的で毎年開催されています。今回は道内183校から4,889点の応募があり、20点が入賞しました。

**3月16日**  
**牛やミルクのある風景絵画コンクール  
 昭栄小学校から2人が金賞に輝く**



第24回牛やミルクのある風景絵画コンクール(北海道牛乳普及協会・ホクレン農業協同組合連合会主催)で、昭栄小学校1年の齋藤琉緒さんと4年の森内ひなのさんが金賞に選ばれました。同コンクールは、小・中学生に牛乳や酪農などに関心と理解を深めてもらおうと毎年開催されているもの。今回は全道の小・中学生から796点の応募があり、金賞には各学年1点の合わせて9点が選ばれました。3月16日に受賞の報告に訪れた齋藤さんは「牛を描くのが少し難しかった」、森内さんは「牛の目を描くのに苦労した」と話していました。

**3月15日**  
**新たな旅立ちを祝福  
 自衛隊入隊予定者の激励会**



町自衛隊協会(八幡豊行会長)と町自衛隊父兄会(岩崎忠夫会長)主催の弟子屈町自衛隊入隊予定者激励会が3月15日、役場委員会室で開催されました。今年は、弟子屈高校を卒業した井上聡君と岩崎豪規君、川湯中学校を卒業した池上温人君の3人が入隊を予定しています。八幡会長のあいさつ、徳永町長や自衛隊関係者の激励の後、奈良道憲自衛隊父兄会理事から記念品が手渡されました。入隊予定者を代表して井上君が「弟子屈で育ったことを誇りに、若さと情熱で頑張りたい」と、決意も新たに語りました。

**3月22日**  
**人命救助と初期消火に貢献  
 武山さんに感謝状を贈呈**



川湯駅前の武山秀樹さん(54歳)に、釧路北部消防事務組合からの感謝状が贈られました。贈呈式は3月22日、役場で行われ、同組合長の徳永町長から武山さんに感謝状が手渡されました。武山さんは昨年12月29日、川湯駅前の町営住宅で起きた火災に際し、迅速で的確な行動で人命救助と初期消火に貢献。その功勞に対し、感謝状が贈られたものです。徳永町長は「地域づくりや福祉対策など、地域の日頃からの活動が尊い人命の救出につながった」と感謝の意を述べていました。

**3月21日**  
**これからも安全運転をお願いします  
 交通死亡事故ゼロ500日達成で表彰**



本町が3月17日、交通死亡事故ゼロ500日を達成し、弟子屈警察署長から町交通安全運動推進協議会・町交通安全協会・町交通安全指導員会に感謝状が贈られました。伝達式は3月21日、同署で行われ、同署次長の田畑省三氏から同協議会長の徳永町長と藤田文明交通安全協会会長、小家山勝交通安全指導員会長に感謝状が手渡されました。町内での交通死亡事故は、平成22年11月3日に美里の国道241号と道道札友内弟子屈停車場線交差点で発生した乗用車とトラックの衝突事故以来、発生していません。今後も事故が発生しないよう、交通安全を心がけていきましょう。

**2月24日**  
**あたらしい湯治～セラピーフェスタ～  
 高齢者施設でアロママッサージも**



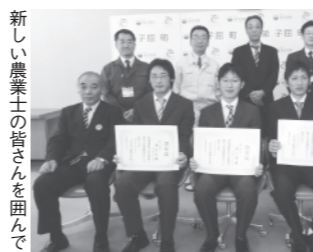
「あたらしい湯治～セラピーフェスタ【ココカラ】(同実行委員会主催)」が、2月18日から26日まで川湯温泉街のホテルなどで開催されました。入浴とマッサージなどを組み合わせた現代風の滞在型温泉治療を提案することで、温泉地の活性化につなげたいと開催されたものです。5つのホテルに専用サロンを設けてマッサージを体験してもらったほか、22日には川湯ふるさと館でシンポジウムも開催しました。また、スタッフ4人がボランティアとしてケア・サポートまつやまを訪れ、入所者にアロママッサージを施術。慢性リウマチの方なども心地よいひとときを過ごしました。

**カメラスケッチ**



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐEかけつけます。お気軽にご連絡ください。  
**企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)**

**3月1日**  
**地域農業の振興に取り組みます  
 新たに4人が北海道農業士に認定**



町内の4人の方が北海道農業士に認定されました。称号贈呈式は3月1日、役場で行われ、徳永町長はじめ町内の農業関係者が見守る中、北海道釧路総合振興局の宮谷内農務課長から称号が贈呈されました。北海道農業士は、地域における新規就農者などへの助言や経営改善、地域農業の振興に関する協力をしていただける方を知事が認定するものです。今回は澤入貴幸さん(33歳・美留和原野)、岡島陸さん(29歳・美留和)、中澤好喜さん(26歳・鶴別)、猪狩大輔さん(25歳・札友内)が認定されました。

**2月29日**  
**貴重な自然を次代へ  
 弟子屈小学校が自然の番人宣言**



弟子屈小学校(伊藤新一校長)が自然の番人宣言を行いました。宣言式は2月29日、同校で行われ、児童会長の山家麻由美さんが宣言文を読み上げ、釧路管内市町村「自然の番人宣言」推進委員会からの認定証が徳永町長から手渡されました。自然の番人宣言は、廃棄物の不法投棄やポイ捨てなどから貴重な自然環境を守り、将来に継承していくことを目的に行われています。趣旨に賛同し、同宣言を行った事業所や団体は、自然環境保全の取り組みを行っていくことになります。2月6日には(株)今道東建設工業(今誠代表取締役)も同宣言を行っていて、町内の宣言団体は29となりました。

**3月5日**  
**釧路川をもっと身近に  
 かわまちづくり計画が国交省の支援制度に採択**



本町の「弟子屈地区かわまちづくり計画」が、国土交通省水管理・国土保全局の「かわまちづくり支援制度」に登録されました。登録決定の通知は3月5日、役場で行われ、北海道開発局釧路開発建設部釧路河川事務所の阿部修也所長から徳永町長に登録通知書が手渡されました。同支援制度は、地方自治体と地域住民、河川管理者の連携による川を生かしたまちづくりや、河川周辺環境づくりを支援する目的で設けられています。本町の計画では、町中心街を流れる釧路川が整備範囲で、川と都市公園が一体となった水辺空間の創出や、JR摩周駅・道の駅摩周温泉と川をつなぐ管理用道路の整備などを進めていきます。

**3月3日**  
**久々のお化粧で心も晴れやかに  
 ケア・サポートまつやまでひな祭り**



高齢者向け住宅ケア・サポートまつやま(川湯温泉)で3月3日、ひな祭りが行われました。女性の入所者の皆さんは、地元ボランティアの皆さんにお化粧をしてもらい、美しく変身。久しぶりのお化粧をととても喜んでいました。その後、おひなさまのパネルを使って写真撮影を行いました。それを見ていた男性入所者の方も大喜び。とても楽しい一日になりました。